

事業の背景・目的

国指定天然記念物「春採湖ヒブナ生息地」である釧路市の春採湖に生息するウチダザリガニを防除し、春採湖及び春採湖周辺の生物多様性の保全を図る。また、市民が特定外来生物についての関心を持ち、理解を深めてもらうため普及啓発を行う。

事業の内容

事業① 春採湖ウチダザリガニ捕獲事業

地域の自然環境に精通し、春採湖でのウチダザリガニ防除実績があるNPO法人に捕獲を委託し、効率的、効果的な防除活動を行う。



事業② 普及啓発事業

市民参加型のイベントや出前講座を開催し、外来生物について理解を深めてもらう。



事業③ データ収集業務

防除活動による捕獲結果については、地域の有識者で構成される春採湖調査会に報告し、水質調査など、他の調査項目と総合的に調査してもらう。

得られた成果

- ・ 6月と9月に各5日間、計10日間防除活動を行い、雄1,104個体、雌1,072個体、計2,176個体を捕獲し、捕獲地で殺処分した。
- ・ 今年度から捕獲範囲や期間を見直した結果、捕獲日数は2/3になったが、捕獲数は昨年の倍以上になり、効率的に捕獲することが出来た。
- ・ 市民参加型イベントは、開催日が新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言中だったため中止した。
- ・ 「まちづくり出前講座」の申込みがあり、24名の市民に対し、春採湖にウチダザリガニが侵入したことによる生態系への悪影響について伝えた。参加者から捕獲後のウチダザリガニの処理について質問がある等、積極的に受講いただいた。
- ・ 捕獲結果を春採湖調査会に報告し、捕獲範囲等を変更後も捕獲圧は維持できており、水草の生育状況を踏まえて推移をみていくことが必要との意見が挙がった。

